

東大和三中だより

令和元年12月19日

12月号(No.8)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原2-7

TEL 042-564-5411

今年一年を振り返って

東大和市立第三中学校長 井上 敬夫

今年も残り僅かとなりました。年の瀬の忙しさの中、世間ではメディアを通して「この1年を振り返る」というテーマで様々な意見が述べられています。三中生の皆さんは、令和元年という節目の一年についてどんな感想を持つでしょうか？

私は「炎上」という言葉が真っ先に浮かびました。今年は、謝罪会見に代表されるように、メディアに対してお詫びの言葉を述べる著名人が目立ったように感じます。著名人の言動への批判がどんどんと大きく取り上げられて、最終的には、活動自粛や役職の辞任に至るシーンを、今年には特にたくさん見た印象です。

政治家やテレビタレントのように社会的な影響力の大きな人たちが、不祥事に対してお詫びの言葉を述べるのはある程度は理解できます。ただ、私は、行き過ぎた言動に対して必要以上に非難したり、攻撃的なコメントの集中砲火を浴びせたりする社会現象そのものに違和感を感じます。その中でも主にSNSなどのツールを使っての個人攻撃が「炎上」と呼ばれる現象で、今年には「炎上」が目立ったような印象があります。

例えば、あるテレビタレントの不祥事について、ツイッターなどでは、そのタレントの人格まで否定するような発言を、直接関係のない一般の人々が発信しています。教室での雑談レベルで個人的な感想や意見を言っているうちにはいいのですが、ひとたびSNSでそれを発信したら、不特定多数の人間がその個人的な意見を共有することになり、場合によってはきわめて個人的な意見だったものが「世論」になり得るのです。これってかなり恐いことです。

情報化社会という言葉が今では当たり前のように使われています。SNSの発達・普及によって、情報量は膨大になると同時に、伝達スピードも情報の消費スピードも上がっています。確証のない噂レベルの「間違っただ情報」も多く含まれています。そんな中で、私たちはどのように生きていけば良いのでしょうか。

一つは「本当にそうなのか？」と疑ってみることです。二つ目は、興味があるのならば。「なぜそうなるのか。何を根拠にそうなるのか。」を自分自身で考えて調べてみる姿勢です。このように考えていくと、筋道立てて自分の頭で考える人間になること。つまり三中の教育目標である「自ら考え正しく判断できる生徒」を目指すことの大切さを再認識しました。

やさしい気持ちが未来につながる と、いな…

1学期の7月6日（土）にハミングホールで行われた「中学生意見発表会」。そこで生徒会長の3年さんは、三中における地域の活動として、「五地区まつり」を次のように紹介しました。

「第五小学校で、輪投げやボウリングなどを楽しめるゲームコーナーを開き、小さい子供たちや小学生と交流し、楽しんでもらいます。私たちは、小さい子たちとふれあいながら、思いやりや、やさしい気持ちをもって接していることに気がきます。また、小学生は中学に上がってから、そのときのことを思い出して、自分も同じように参加するようになるかもしれません。やさしい気持ちで未来につながっていくとてもよい機会だと思います。」

今年のまつりは、11月30日（土）に開かれました。好天にも恵まれ、朝から大賑わい。三中生は、約70名が体育館での「三中ゲームコーナー」の運営に加わりました。

小さい子供たちに接する際の笑顔の、なんとステキなこと！！

さんの言葉のとおり、やさしさがこの地域の未来に引き継がれていってほしいなと心から思いました。



魚釣り、ペットボトルを倒すボウリング、輪投げ、数字の的に当てるストラックアウト。以上4つのゲームにそれぞれ担当がついて、子供たちを楽しませます。



都のコンクールにも出場した、五小生による迫力ある和太鼓の演奏がまつりのオープニング。この後、大急ぎで手分けして体育館の設営をしました。



受付の様子。4つのゲームを回った得点の合計により、おたまかトングを使って、お菓子をつかみ取ります。大量にゲットできて大喜び。



陽も傾き始めた3時過ぎ。五地区青少対の方々が作ってくださったあたたかい豚汁をいただく。どうもお疲れ様でした。

暴力行為等をなくすための調査について

これまで学校としましては、保護者の皆様のご協力を得て、暴力のない楽しい学校生活づくりに取り組んできています。

今月、学校では、楽しく学校生活を送ることができるようにするために、生徒に校内で暴力行為（暴言も含む）等が行われているかどうかを聞くアンケート調査を実施しました。

各家庭におかれましても、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもったりするとともに、人を大切にすることや暴力はいけないということについてご確認ください。

また、何かお子様についてご心配なことがありましたら、いつでも、どんなことでも学校にどうぞご相談くださるようあらためてご案内申し上げます。

三中生の活躍

「表現する」「創作する」「疾走する」 それらの姿を応援したい

○「税の標語」コンクール

応募作品数12, 523点の中から選ばれました。

【東京国税局間税会連合会入選】「人生100年時代 社会保障の大切さ」

1年 男子

○中学生の「税についての作文」コンクール

【東大和市長賞】 3年 女子

【東京都立川都税事務所賞】 3年 女子

【多摩納税貯蓄組合連合会優秀賞】 3年 女子



○「東大和市明るい選挙啓発ポスター展」に展示

市役所に展示される予定です。

1年 男子1名 女子4名

2年 男子1名 女子1名

○第11回 中学生「東京駅伝」大会の選手に選出



来年の2月2日（日）に調布の「アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園」で行われます。男子はマラソンと同じ42.195kmを17人でタスキをつなぎ、女子は30kmを16人で走ります。女子のスタートは午前10時、男子は午後1時スタートです。

三中からは、以下の4名が「チーム東大和」（補欠も含む男女21人ずつのメンバー）に選ばれました。いずれも2年生です。

男子2名

女子2名

「三中日記」より

三中ホームページにて、鋭意更新中！

12月2日（月） 全校朝礼 産休代替教員の紹介



11月をもちまして、養護担当は産休に入りました。かわりまして、今月より代替教員が勤務しております。朝礼の場での自己紹介で、「趣味は、ダンスと化石掘りです」と話したところ、生徒たちが少し沸きました。

保護者の皆様、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

12月3日（火） ストレスについて考える授業

6時間目。体育館に全校生徒が集まって、「自分を大切にする」をテーマに講演会を行いました。ストレスへの対応方法についてのDVDを見て、副校長と東大和市の保健師の方のお話を聴きました。また、自分なりのストレス解消法について考え、近くの席の人と共有したりしました。

中学時代は思春期とも重なり、学習面、日常の人間関係、将来への不安など、様々なことにストレスを感じやすいナイーブな時期です。自分自身について考える中、解決法を見つけられるきっかけになればいいですね。



12月5日（木） 3年 面接練習



午後から全学年で三者面談が行われています。保護者の方と本人と担任で学校生活の様子や成績について話をしています。特に3年生は進路選択に関しての話が中心になります。

また、並行して3年生に関しては面接練習も行われています。推薦入試では面接が実施されるところが多いので、事前に練習を行うことはとても大事になります。